

スペシャルオリンピックス日本（夏季ナショナルゲーム・大阪）

【活動目的】

アサヒディードは『2010年第5回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・大阪』開催にあたり、活動に参加（サポート）させて頂いております。

11月7日（日）板倉社長が表彰プレゼンターとして表彰式にご招待頂き、【卓球】【バドミントン】で表彰を行いました。夏季ナショナルゲームは、過去最大46地区より12競技に1,633名の選手団が参加し、約4,000名にも及ぶボランティアが参加されました。アサヒディードからも社員、スタッフを含め10名が今回の大会に参加させて頂きました。活動は2010年3月5日（金）に和宗 総本山「四天王寺」で行われた『2010年第5回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・大阪 採火式・分火式』へ弊社社長の板倉が参加させて頂いたときから始まり、従業員ボランティアの業務別研修会への参加、表彰式への参加など最終日まで活動に関わらせていただきました。

①『2010年第5回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・大阪

採火式・分火式』

【開催内容】

大会開催に先立って、大会のシンボルとなる大会火を、聖徳太子ゆかりの和宗総本山『四天王寺』のお灯明より拝受し、大阪府下ならびに全国各地において、スペシャルオリンピックスの認知度を高め、協力、支援の輪を広げるトーチランの起点とする。

【活動背景】

アサヒディードは、グリーンアップキャンペーンなどの環境に関する社会貢献活動以外にも、弊社の社長板倉が副会長を務めている、【大阪福祉防犯協会】を通じて様々なボランティア活動に参加させて頂いております。「ひとりひとりができる小さな善意でも、コツコツ育てれば、必ず大きな成果となる」という気持ちを持ち、日頃は日の当たらない小さな福祉団体や身体障がいのある方々の自立および社会参加、またそのサポートする団体などの活動支援を行っていきます。

開催日 平成22年3月5日（金）

開催場所 和宗 総本山「四天王寺」

参加者 代表取締役 板倉 行央その他ボランティアの皆様

『スペシャルオリンピックス』とは？また開催の目的についてのご紹介です

スペシャルオリンピックス（SO）は知的発達障がいのある人たち（アスリート）に様々なスポーツトレーニングとその成果の発表の場である競技会を年間を通じ提供し、彼らの自立と社会参加を応援する国際的なスポーツ組織です。国際本部は米国ワシントンDCにあり、世界175カ国以上で310万人を超えるアスリートが参加し、75万人を超えるボランティア活動を支えています。2010年11月に大阪でスペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム（全国大会）が開催されます。大会準備の為昨年4月11日に実行委員会が発足し、大阪を代表する各界の方々が協力し6月26日に組織委員会が発足いたしました。本大会が契機となり、知的発達障がいのあるアスリートと市民ボランティアがスポーツを通じて自然な交流を育むことにより、ソーシャルインクルージョン（包み込む社会）を促進する一助になることを目指しております。アサヒディードは2010年第5回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・大阪開催にあたり活動に参加（サポート）させて頂きたく板倉社長が今回の採火式・分火式に参加いたしました

『スペシャルオリンピックス概要』

『大会テーマ』

「なにわに集え 挑戦者！夢と勇気をもって！」

～自分へ、チャレンジ。明日へ、チャレンジ。～

『大会理念』

- ・知的発達障害のある人のスポーツプログラムの成果の発表の場として提供される全国大会として開催される競技会である。
- ・2011年にギリシャ・アテネで開催される「2011年スペシャルオリンピックス夏季世界大会・アテネ」の国内選考を兼ねる

大会ロゴマーク



本大会のロゴマークは「長野オリンピック」のシンボルマークのデザインを手がけたトップクリエイターの篠塚正典氏がボランティアとして製作。

アスリートたちの熱い情熱の炎のごとく力強く明日に向かって挑戦し、お互いに助け合い一緒に不死鳥のごとく未来へ駆け上がっていく勇姿をあらわしています

② 夏季ナショナルゲーム・大阪ボランティア参加

【開催概要】

*全国各地で日常のスポーツプログラムに参加しているアスリートが日頃のトレーニングの成果を競い合い、喜びを共にする、オリンピックに準じた競技種目を実施する競技会です。

*競技だけでなく開・閉会式や表彰式、宿泊施設での共同生活などを通じて、アスリートは自立性と社会性を高め、コーチやボランティアを含むすべての参加者が交流し、理解と友好を深めます。

*全国的にスペシャルオリンピックスの知名度を高めて活動の輪をさらに大きく広め、アスリートに対する理解を深めると共に、より多くの人たちが互いの違いを認め合い、包み込む社会を促進する機会とします。

*2011年6月にギリシャ・アテネで開催される「スペシャルオリンピックス夏季世界大会」の選手選考を兼ねます。

【開催期間】

2010年11月5日（金）～7日（日）の3日間



■ 実施競技及び会場 ■

開会式 大阪城ホール

水泳競技 大阪市舞洲障害者スポーツセンター

陸上競技 万博記念競技場

バドミントン 舞洲アリーナ・サブアリーナ

(その他開催競技) バスケットボール、ボウリング、サッカー、ゴルフ、体操競技、卓球、テニス、バレーボール、フライングディスクなど

閉会式 なみはやドーム

(競技の様子)



■表彰式■

【日時】 11月7日(日)

【場所】 舞洲アリーナ

11月7日(日)の表彰式には、表彰プレゼンターとして板倉社長が参加し【卓球】【バドミントン】で表彰を行いました。

(表彰式の様子 真ん中の方が板倉社長です)



(様々な競技も観覧しました CS推進担当マネジャー鈴木・森下も同行しました)



(板倉社長が副会長をされている大阪福祉防犯協会の方も観覧に来られていました)



■今回の活動を通して■

11月7日(日)の表彰式には、表彰プレゼンターとして板倉社長が参加され【卓球】
【バドミントン】で表彰を行いました。夏季ナショナルゲームは、過去最大46地区より12
競技に1,633名の選手団が参加し、約4,000名にも及ぶボランティアが参加されました。
アサヒディードからも社員、スタッフを含め10名が今回の大会に参加させて頂きました。
夏季ナショナルゲームは、知的発達障害のあるアスリートが一生懸命競技に取り組む姿に
会場全体が大きな感動に包まれました。2012年には冬季ナショナルゲーム・福島が予定さ
れています。来年に向けてこの活動が多くの人に伝わるようにアサヒディードも出来る限
りご協力をしていくことが出来ればと思います